



学力向上を図るための調査結果

今年度の学力調査の結果をお知らせします。調査結果を分析し、全教員で授業改善プランを作成し、授業改善に取り組んでいます。以下は、学力調査の結果と傾向と対策です。

※数値（正答率）の左の記号は、◎：+5以上、○：+3～+5、（比較は、全て都平均との比較です）

▲：-5以下、△：-3～-5、の際に記しています。

1 6年生 全国学力・学習状況調査 4月17日実施

(1) 国語

ア 知識

	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	国語全体
本校	◎95.7%	◎85.2%	◎84.8%	◎77.4%	◎81.0%
都	92.6%	77.9%	76.5%	69.9%	74.0%
国	90.8%	73.8%	74.0%	67.0%	70.7%

イ 活用

	関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	全体
本校	◎37.7%	◎73.6%	◎51.8%	◎55.2%	◎62.0%
都	33.6%	66.8%	47.1%	52.1%	57.0%
国	33.2%	64.6%	45.6%	50.8%	54.7%

全ての観点で、都・全国の平均を上回りました。しかし、無回答・誤答傾向を見ていくと、知識領域では、「文の中における主語述語の関係に注意して文を正しく書く」「適切な敬語の使い方」「漢字おもに熟語を文の中で正しく使う」などが十分に理解していない項目として挙げられます。活用領域においては、「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べながら考えること」や「目的に応じて、複数の本や文章を選んで読む」「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読む」ことが苦手な児童が見受けられます。国語の学習だけでなく、各教科において自分の考えをまとめ、相手に伝える活動を日常的に行う中で、相手の考えをしっかりと理解する、自分の考えを深めていくことの重点化を図ります。また、考えをまとめる文章表記などでは、正しい熟語の使い方を身に付けさせ、聞き手を意識した言葉遣いなども重点指導していきます。

(2) 算数

ア 知識

	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	算数全体
本校	◎76.5%	◎70.4%	◎73.0%
都	67.5%	67.2%	67.0%
国	63.0%	63.8%	63.5%

イ 活用

	数学的な考え方	数量や図形についての知識・理解	全体
本校	◎52.9%	◎81.7%	◎70.4%
都	52.8%	76.8%	55.0%
国	49.2%	71.7%	51.5%

全ての観点で、都・全国の平均を上回りました。しかし、無回答・誤答傾向を見ていくと、知識領域では、「1当たりの大きさを求める問題で、除数が小数の場合や、数量関係を数直線で表するなど、つまづきが見られ

ました。単位当たりの大きさを求める中でも除法に誤答が目立ちます。基本的な公式の中でも、円周率の求め方や、百分率の求め方での誤答が多かったです。資料の活用の中で折れ線グラフの特徴などを複数読み取ることが苦手なようです。活用領域においては、図形の構成要素や性質を基に、角の大きさの和が 360° であることを記述したり、複数の条件やグラフなどを関連付けたりすることへの無回答率が高い結果が出ています。グラフや資料を読み取るとはもとより、条件を整理して考えることや、グラフを自分で考えて書くなどの経験を増やして、資料を読みとる、データを分析して考えるなどの活動を社会科や理科などの学習とも関連させ、資料に慣れる・資料を見抜く力を高めていく指導を行っていきます。

(3) 理科

	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象への知識・理解	理科全体
本校	○88.7%	○63.0%	○76.5%	82.6%	○68.0%
都	83.2%	56.5%	72.6%	78.5%	62.0%
国	82.1%	54.1%	71.1%	81.5%	60.3%

全ての観点で、都・全国の平均を上回りました。実験結果などを基に、より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を分析し考察した内容を記述することや、複数の情報を関係付けながら分析して考察することの誤答が比較的多い結果となりました。実験結果をしっかりと分析し、考察する習慣を身に付けさせることが必要です。実験の結果とめあての関係を把握させ、相関を意識してノートにまとめる活動、相手にきちんと伝わる表現等を確実に身に付けさせる学びの重点化を図っていきます。

2 5年生 児童・生徒の学力向上を図るための調査 7月5日実施

(1) 教科の内容

ア 国語

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現 (話す・聞く)	技能 (書く)	知識・理解 (言語)	読む
本校	90.7%	○85.3%	39.2%	△50.7%	76.5%
都	93.3%	81.7%	39.8%	55.2%	74.6%

イ 社会

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
本校	89.2%	○74.2%	81.0%	○69.0%
都	87.3%	72.6%	78.3%	62.0%

ウ 算数

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
本校	○87.3%	41.5%	66.7%	○56.5%
都	84.1%	40.7%	65.8%	54.6%

エ 理科

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
本校	○94.1%	63.7%	65.0%	○84.8%
都	90.7%	61.8%	64.8%	79.1%

(2) 読み解く力

ア 国語

	取り出す力	読み取る力	解決する力
本校	75.5%	○76.5%	○74.5%
都	73.1%	69.3%	66.9%

イ 社会

	取り出す力	読み取る力	解決する力
本校	△69.6%	△49.5%	54.9%
都	72.6%	53.3%	52.9%

ウ 算数

	取り出す力	読み取る力	解決する力
本校	52.9%	19.1%	△17.6%
都	53.5%	21.9%	21.1%

エ 理科

	取り出す力	読み取る力	解決する力
本校	○76.0%	○76.0%	△54.9%
都	72.2%	71.9%	59.1%

◇ 国語においては、〈関心・意欲・態度〉〈書く力〉〈言語についての知識・理解・技能〉の観点がどの平均に達していません。ドリル学習やベーシックドリルの活用を朝学習等にも取り入れるとともに、学習場面での日常的に漢字を正しく用いて文章を書く、相手に自分の思いが伝わる、ねらいのはっきりした文を書く指導を充実させていきます。

グループ学習等の機会を増やし、自分の言葉で表現し合うことで、認め合いや自己肯定感を高め、発言したり、質問したりの活動を楽しむ授業を増やしていきます。

◇ 社会においては、〈必要な情報を取り出す力〉〈比較・関連付けて読み取る力〉が弱い結果が出ています。資料の見方、読み取る課題や、資料を探すなどの活動を増やし、目的に応じて資料を生かし、答えを導く思考ができるような活動を増やしていきます。

◇ 算数においては、〈必要な情報を正確に取り出す力〉〈比較・関連付けて読み取る力〉〈意図や背景、理由を理解・解釈・推論する力〉が都平均を下回っています。習熟度別学習の中で、条件整理を自ら検討することや与えられた資料を効果的に使って公式を導くなど段階的に問題解決学習を積み上げていきます。

◇ 理科においては、〈意図や背景、理由を理解・解釈・推論する力〉が都平均を下回っています。関心意欲などは高いので、主体的な問題解決の活動を充実させ、観察・実験の結果を、問題や予想などに照らして考察する指導の充実を図っていきます。

3. 児童の意識調査（6年生質問紙から）

生活習慣として大事な朝食・決められた時間での起床・就寝時刻は概ね良好ですが、就寝時刻が遅くなっています。規則正しい生活は学校生活を支える重要な要素です。引き続き御協力お願いいたします。

家庭学習に関しては、1時間以上2時間未満の児童が3割を占めていました。一方1時間未満（全くしないを含む）も3割を占めています。課題を自分で見つけて学ぶ姿勢を身に付けられるように指導いたします。

読書に関しては、平日の読書を30分以上する児童が5割という結果が出ました。図書館の利用なども定着してきました。

地域行事への参加やボランティア活動の経験などは消極的な結果が出ています。地域社会との連携や社会貢献の重要性など、低学年のうちから、自然に意識できる学習を積み上げ、学びの中で感受できるようにしていきます。

今年度の学力調査結果の分析を生かし、全校で授業改善に努めてまいります